

- ▶ 男鹿市では、森林環境譲与税を活用し、これまで様々な課題により手入れできなかった森林整備・意向調査・境界画定、さらに森林整備を担う人材育成や担い手の確保等の取り組みを推進する。
- ▶ 令和5年度は、航空レーザー測量成果を活用した森林資源解析を実施した。

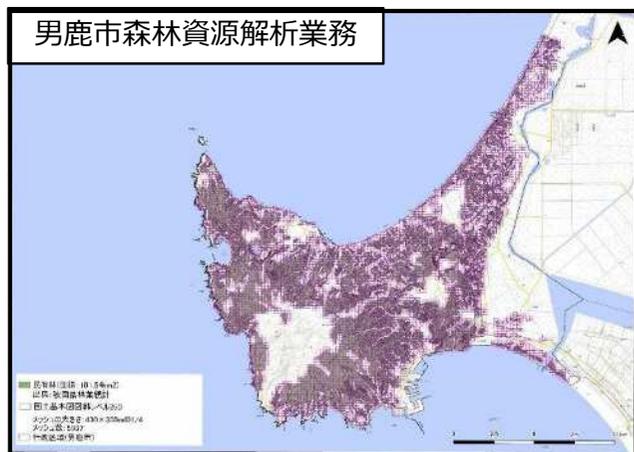
□ 事業内容

森林資源解析業務

・航空レーザー計測成果により得られたデータを解析し、樹冠高データ、林相区分図等を作成するとともに、スギ等の立木本数、樹高、樹冠長、胸高直径材積等の森林資源を算出するものとする。また収量比数相対幹距離、樹冠長率等を算出することにより、人工林の荒廃状況を把握する。

【事業費】24,200千円（全額譲与税）

【実績】森林資源解析 A = 101.54㎡

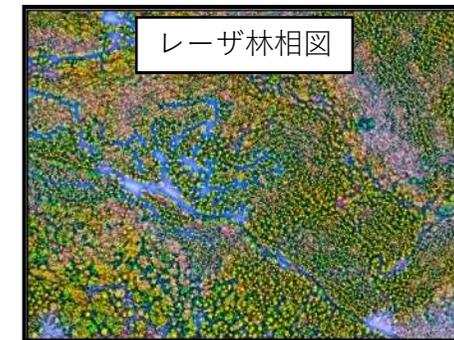
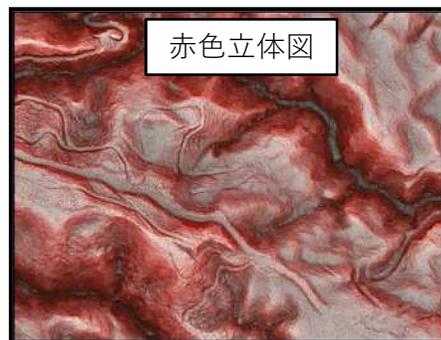


□ 取組の背景

・秋田県の「秋田県森林情報デジタル化推進事業」により令和4年度に男鹿市で航空レーザー測量が実施された。その後、引渡しされた成果品の資源解析を実施。

□ 取組の効果

・森林資源情報管理システムの構築により、森林資源解析で作成した膨大な単木情報、資源情報を効率的に活用、管理できるようになり、今後の森林整備に大きく寄与する。



◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：25,454千円	②私有林人工林面積（※1）：5,532ha	
③林野率（※1）：51.7%	④人口（※2）：25,154人	⑤林業就業者数（※2）：38人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より